

# 令和7年度支部事業実施概要

(令和8年3月31日現在)

# 1 国内災害救護

「災害から人々のいのちと健康を守ることを軸として、災害時の初動救護活動を迅速・的確に行うための人材の育成に努めるとともに器材の整備を行い、地域においては防災・減災に関する知識の普及啓発活動を推進し、災害対応能力の強化を図る。

## (1) 医療救護班の編成と防災ボランティアの登録

県内9か所の自治体病院等に赤十字医療救護班を編成するとともに、赤十字救急法等指導員からなる防災ボランティアを登録している。

### ① 医療救護班の編成状況

地区	救護班名	救護班員の登録者						こころのケア指導者
		医師	看護師長	看護師	薬剤師	主事	計	
村山	日赤山形県立中央病院救護班	4名	2名	4名	2名	2名	14名	1名
	日赤山形市立病院済生館救護班	2名	1名	8名	2名	3名	16名	1名
	日赤北村山公立病院救護班	2名	1名	5名	2名	4名	14名	1名
	日赤山形県立河北病院救護班	1名	1名	3名		2名	7名	1名
最上	日赤山形県立新庄病院救護班	4名	2名	4名		3名	13名	1名
置賜	日赤米沢市立病院救護班	2名	1名	2名	1名	2名	8名	1名
	日赤公立置賜総合病院救護班	1名	1名	2名	1名	2名	7名	1名
庄内	日赤鶴岡市立庄内病院救護班	1名	1名	4名		2名	8名	1名
	日赤日本海総合病院救護班	1名	1名	2名	1名	1名	6名	1名
合計		18名	11名	34名	9名	21名	93名	9名

### ② 防災ボランティアの登録状況

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	合計
39名	1名	10名	14名	64名

## (2) 災害救護対応力の強化

### ① 地域防災訓練への参加

県及び市が主催する防災訓練に参加し、地域の防災関係機関と協働して災害発生時の初動期対応や相互連携について確認を行い、知識及び技術の向上に努めた。

No.	訓練名	期日	場所	参加者
1	山形県災害ボランティア支援本部設営訓練(Web)	5月19日(月)	日赤県支部(山形市)	支部職員 1名
2	村山市防災図上訓練	7月9日(水)	農村環境改善センター(村山市)	日赤北村山公立病院救護班員 3名 支部職員 2名 合計 5名
3	山形県・酒田市合同総合防災訓練	9月7日(日)	光ヶ丘陸上競技場等(酒田市)	日赤日本海総合病院救護班 5名 支部職員 4名 合計 9名
4	米沢市総合防災訓練	10月5日(日)	上郷コミュニティセンター(米沢市)	日赤米沢市立病院救護班 6名 支部職員 3名 合計 9名
5	新庄市総合防災訓練	10月19日(日)	新庄市立本合海小学校(新庄市)	支部職員 2名
6	長井市総合防災訓練	10月26日(日)	長井市立致芳小学校(長井市)	日赤公立置賜総合病院救護班 5名 救急法等指導員 3名 支部職員 2名 合計 10名

No.	訓練名	期 日	場 所	参加者
7	村山市防災訓練	10月26日(日)	村山市立 大久保小学校 (村山市)	日赤北村山公立病院救護班 12名 救急法等指導員 2名 支部職員 2名 合 計 16名
8	山形県国民保護 共同図上訓練	11月19日(水)	山形県庁講堂 (山形市)	支部職員 1名
9	山形空港SCU(航空搬 送拠点臨時医療施設) 設置・運営訓練	12月21日(日)	山形空港 (東根市)	支部職員 1名



傷病者の状態に応じて処置を実施

## ② 第1ブロック(北海道・東北)支部合同災害救護訓練への参加

学習訓練では練習資材を用いた図上での避難所アセスメント演習を行った。また、実働訓練では仮想避難所の巡回診療及びアセスメント(調整)等を行うなど、災害発生を想定した訓練を実施し、災害救護技術の向上及び広域での連携強化に努めた。

訓練名	期 日	場 所	参加者
日本赤十字社 第1ブロック支部 合同災害救護訓練	10月10日(金) ～11日(土)	日赤東北看護大学 (秋田県秋田市) ・ 男鹿市総合体育館 (秋田県男鹿市)	県赤十字血液センター救護班 6名 支部職員 4名 合 計 10名



避難所アセスメント演習



仮想避難所における巡回診療訓練

## ③ 各種会議・研修会への救護班及び支部職員の派遣

各種会議・研修会に救護班及び支部職員を派遣し、知識の向上に努めた。

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参加者
1	支部災害救護・講習普及 担当課長会議	4月18日(金)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
2	救護業務打合せ会議	4月25日(金)	日赤県支部 (山形市)	日赤各病院救護班員 14名 支部職員 5名 合 計 19名

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参加者
3	山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会(Web)	5月9日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
4	山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会 災害ボランティア支援本部設営訓練(Web)	5月19日(月)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
5	防災気象情報等に関する連絡会(Web)	5月21日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
6	第1回防災教育事業主任指導者研修(Web)	5月30日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
7	第1ブロック事業推進課長会議	6月12日(木) ～13日(金)	日赤北海道支部 (北海道)	支部職員 1名
8	第1ブロック赤十字救護班研修会	8月9日(土) ～10日(日)	石巻赤十字病院 (宮城県)	日赤鶴岡市立荘内病院救護班 5名 支部職員 2名 合計 7名
9	日赤災害医療コーディネーター研修会	9月26日(金) ～27日(土)	日赤本社 (東京都)	支部職員 2名
10	第1ブロック支部日赤災害医療コーディネーター連絡会(Web)	9月29日(月)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
11	第2回防災教育事業主任指導者研修	10月20日(月) ～21日(火)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
12	こころのケア要員研修(Web)	10月28日(火)	日赤県支部 (山形市)	日赤山形県立新庄病院救護班員 1名 支部職員 1名 合計 2名
13	日本赤十字社原子力災害時の救護研修	11月6日(木) ～7日(金)	日赤北海道支部 (北海道)	日赤米沢市立病院救護班員 3名
14	令和8年度最上川下流・赤川総合水防演習第1回実行委員会	11月18日(火)	酒田市勤労者福祉センター (酒田市)	支部職員 1名
15	こころのケア指導者養成研修会	11月23日(日) ～24日(月)	日赤本社 (東京都)	日赤山形県立新庄病院救護班員 1名
16	災害中間支援フォーラム	12月1日(月)	村山総合支庁西村山地域振興局 (寒河江市)	支部職員 1名
17	スキー場安全合同総合訓練	12月16日(火)	蔵王猿倉スキー場 (上山市)	支部職員 1名
18	令和8年度最上川下流・赤川総合水防演習第1回合同部会	1月19日(月)	酒田市総合文化センター (酒田市)	支部職員 1名
19	山形DMAT連絡調整会議(Web)	1月30日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
20	こころのケア指導者フォローアップ研修会(Web)	3月1日(日)	各所属病院 (県内各所)	日赤救護班編成病院所属こころのケア指導者 8名
21	災害医療コーディネーター連絡調整会議(Web)	3月2日(月)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参加者
22	令和8年度最上川下流・赤川総合水防演習第2回実行委員会	3月4日(水)	酒田市勤労者福祉センター(酒田市)	支部職員 1名
23	日本赤十字社防災教育事業主任指導者フォローアップ研修(Web)	3月5日(木)	日赤県支部(山形市)	支部職員 4名
24	第2回山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会(Web)	3月5日(木)	日赤県支部(山形市)	支部職員 1名
25	災害対策本部要員研修	3月6日(金)	日赤宮城県支部(宮城県)	支部職員 3名
26	山形県防災会議	3月13日(金)	山形県庁(山形市)	支部職員 1名

#### ④ 日赤山形県支部主催災害救護訓練(学習訓練)の実施

赤十字救護班としての基本的な行動等を学習し、救護班の災害対応力の向上に努めた。

No.	訓練名	期 日	場 所	参加者
1	日赤山形県支部災害救護訓練(Web学習訓練)	5月19日(月)～6月30日(月)	各病院及び日赤県支部(山形市他)	日赤各病院救護班員 85名

#### ⑤ 防災士資格の取得

防災に関する幅広い知識を身につけ、災害発生時に適確な対応を取るため、支部職員が防災士資格を取得した。

No.	研修名	期 日	場 所	参加者
1	山形県防災士養成研修講座	11月8日(土)～9日(日)	山形県庁講堂(山形市)	支部職員 1名

#### (3) 災害救護活動用器材の整備

##### ワンタッチテント、自動ラップ式簡易トイレの整備

災害時に迅速に救護活動を実施するため、ワンタッチテント、自動ラップ式簡易トイレを整備し、下記の地区区分へ配備した。

ワンタッチテント配備先 (3)	鶴岡市地区、天童市地区、三川町分区
自動ラップ式簡易トイレ配備先 (14)	山形市地区、米沢市地区、酒田市地区、長井市地区、東根市地区、河北町分区、金山町分区、舟形町分区、鮭川村分区、戸沢村分区、高畠町分区、小国町分区、白鷹町分区、遊佐町分区



#### (4) 救援車の設置助成

災害時における地域住民の避難・救護活動、その他赤十字事業の推進を図るため、地区区分に救援車設置に係る経費を助成した。

助成先	上山市地区
助成額	1,281,000円



## (5) 赤十字防災セミナーの実施

自治会や企業、赤十字奉仕団の依頼を受け、指導者を派遣し、非常災害時の炊き出し実習や防災・減災の知識について学ぶ防災セミナーを実施した。

No.	行事名	期 日	場 所	内 容	参加者
1	すまいるはーと 防災セミナー	4月2日(水)	すまいる はーと (高島町)	・非常食づくり研修	施設職員 7名 奉仕団支部指導講師 2名 合 計 9名
2	やまがたトレーニングジム 防災セミナー	5月14日(水)	やまがた トレーニング ジム (山形市)	・災害への備え	ジム職員 4名 地域住民 2名 支部職員 2名 合 計 8名
3	児童遊戯施設コパル 防災セミナー	6月1日(日)	児童遊戯 施設 コパル (山形市)	・非常食づくり研修 ・非常持ち出し品 ゲーム	施設利用親子 19名 支部職員 1名 合 計 20名
4	JA庄内たがわ女性部 温海支部防災セミナー	6月6日(金)	庄内たがわ 農協 温海支所 (鶴岡市)	・災害への備え ・災害救護資器材 展示紹介 ・救援物資展示紹介 ・非常食づくり研修	温海支部女性部員 40名 支部職員 2名 合 計 42名
5	すまいるはーと 防災セミナー	6月16日(月)	すまいる はーと (高島町)	・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験	施設職員 15名 支部職員 1名 合 計 16名
6	白鷹町民生委員児童委員 協議会防災セミナー	6月19日(木)	蚕桑地区 コミュニテイ センター (白鷹町)	・赤十字活動紹介 ・災害への備え ・災害救護資器材 展示紹介	民生委員・児童委員 12名 支部職員 1名 合 計 13名
7	放課後等デイサービス ベルチェ防災セミナー	6月26日(木)	放課後等 デイサービス ベルチェ (上山市)	・災害への備え ・救急法(止血、気道 異物除去)	施設職員 5名 支部職員 1名 合 計 6名
8	東海林建設株式会社 防災セミナー	7月5日(土)	東海林建設 株式会社 (天童市)	・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験 ・災害救援物資 展示紹介	社員・関係業者 85名 支部職員 2名 合 計 87名
9	山形市教育委員会 防災セミナー	7月11日(金)	山形市西部 公民館 (山形市)	・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験	避難所運営委員及び市職員 15名 支部職員 1名 合 計 16名
10	東根市立東郷小学校 6学年防災セミナー	7月12日(土)	東根市立 東郷小学校 (東根市)	・非常食づくり研修	6学年児童・教諭 56名 東根市蟹沢赤十字奉仕団員 5名 支部職員 3名 合 計 64名
11	株式会社三要 防災セミナー	7月25日(金)	酒田市 勤労者福祉 センター (酒田市)	・災害への備え ・令和6年7月25日 からの大雨災害の 日赤対応紹介	社員・関係業者 80名 支部職員 1名 合 計 81名
12	鶴岡市加茂地区 自治振興会防災セミナー	7月26日(土)	加茂コミュ ニテイ防災 センター (鶴岡市)	・災害への備え ・災害救護資器材 展示紹介	地域住民 30名 支部職員 1名 合 計 31名
13	最上教育事務所 防災セミナー	8月7日(木)	雪の里 情報館 (新庄市)	・赤十字活動紹介 ・災害救護資器材 展開体験及び展示 紹介 ・防災かるた ・青少年赤十字防災 教育プログラム講話	最上管内中学生 14名 支部職員 2名 合 計 16名
14	山形県立保健医療大学 看護技術サークル 防災セミナー	8月9日(土)	県立保健 医療大学 (山形市)	・ひなんじょたいけん ・災害救護資器材 展開体験	看護技術サークル会員 26名 支部職員 2名 合 計 28名
15	介護支援事業所 ひいなの里防災セミナー	8月20日(水)	老人ホーム ひいな (河北町)	・災害への備え ・災害救護資器材 展示紹介	介護福祉士等 19名 支部職員 1名 合 計 20名

No.	行事名	期 日	場 所	内 容	参加者
16	株式会社テイクオフ ケアセンターとこしえ 防災セミナー	8月21日(木)	山形ビッグ ウイング (山形市)	・災害への備え ・ひなんじょたいけん ・災害救護資器材 展開体験及び展示 紹介	介護施設職員 13名 支部職員 3名  合 計 16名
17	酒田市社会福祉協議会 防災セミナー	8月27日(水)	日本赤十字社 山形ロジスティ クス・センター (山形市)	・令和6年7月25日 からの大雨災害の 日赤対応紹介 ・災害救護資器材 展示紹介	酒田市民生委員児童委員 35名 支部職員 1名  合 計 36名
18	介護支援事業所 ひいなの里防災セミナー	8月27日(水)	老人ホーム ひいな (河北町)	・災害への備え ・災害救護資器材 展示紹介	介護福祉士等 24名 支部職員 1名  合 計 25名
19	小倉地区いきいきサロン 防災セミナー	8月28日(木)	小倉公民館 (上山市)	・災害への備え ・災害救護資器材 展示紹介	地域住民 15名 支部職員 1名  合 計 16名
20	川西町防災訓練 防災セミナー	8月31日(日)	川西町町民 総合体育館 (川西町)	・災害救護資器材 展開体験及び展示 紹介 ・令和6年7月25日 からの大雨災害の 日赤対応紹介	地域住民 100名 支部職員 2名  合 計 102名
21	余目町農業協同組合 女性部防災セミナー	9月4日(木)	庄内町余目 第三まちづくり センター (庄内町)	・災害救護資器材 展開体験及び展示 紹介	余目支部女性部 11名 支部職員 1名  合 計 12名
22	さがえ西村山農業協同組合 大江営農生活センター 防災セミナー	9月19日(金)	大江営農 センター (大江町)	・非常食づくり研修	大江支部女性部 19名 支部職員 1名  合 計 20名
23	酒田市琢成学区社会福祉 協議会防災セミナー	9月20日(土)	酒田市琢成学区 コミュニティ 防災センター (酒田市)	・ひなんじょたいけん ・災害救護資器材 展開体験	自治会長・民生委員 福祉協力員等 50名 支部職員 1名  合 計 51名
24	最上総合支庁 民生委員児童委員 防災セミナー	10月8日(水)	新庄市市民 プラザ (新庄市)	・災害への備え ・令和6年7月25日 からの大雨災害の 日赤対応紹介 ・災害救護資器材 展示紹介	民生委員児童委員 260名 支部職員 1名  合 計 261名
25	飯豊町椿駅前自治会 防災セミナー	10月19日(日)	椿駅前 公民館 (飯豊町)	・非常食づくり研修	地域住民 20名 支部職員 1名  合 計 21名
26	山形市南町自主防災会 防災セミナー	10月19日(日)	南町集会所 (山形市)	・災害への備え ・非常食づくり研修	地域住民 20名 支部職員 1名  合 計 21名
27	理容組合東村山支部 防災セミナー	10月20日(月)	山辺町 近江公民館 (山辺町)	・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験 ・非常食づくり研修	理容組合員 15名 支部職員 1名  合 計 16名
28	篠田好生会さくら地域 包括支援センター 防災セミナー	10月23日(木)	中央公民館 (山形市)	・災害エスノグラフィー ・災害救護資器材 展開体験	社会福祉協議会等 第一地区関係者 70名 支部職員 1名  合 計 71名
29	第1ブロック青少年赤十字 指導者研究会防災セミナー	10月24日(金)	山形テルサ (山形市)	・ひなんじょたいけん	学校関係者 12名 支部職員 2名  合 計 14名
30	山形県立小国高等学校 防災セミナー	10月30日(木)	県立 小国高校 (小国町)	・非常持ち出し品 ゲーム ・非常食づくり研修 ・災害救護資器材 展開体験	生徒・教諭 75名 小国町赤十字奉仕団員 支部職員 5名 3名  合 計 83名
31	一般財団法人寒河江市 西村山郡訪問看護事業団 防災セミナー	11月1日(土)	寒河江市 総合福祉 健康センター (寒河江市)	・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験	事業団関係者及び一般市民 30名 支部職員 1名  合 計 31名
32	山形市千歳コミュニティ センター防災セミナー	11月30日(日)	千歳コミュニ ティセンター (山形市)	・ひなんじょたいけん ・災害救護資器材 展開体験	地域住民 40名 支部職員 1名  合 計 41名

No.	行事名	期日	場所	内容	参加者
33	日本ボーイスカウト 山形県連盟防災セミナー	12月14日(日)	千布公民館 (天童市)	・赤十字活動紹介 ・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験 ・非常食作り研修	ボーイスカウト連盟会員 23名 支部職員 1名 合計 24名
34	山形県バス協会 防災セミナー	1月7日(水)	山形県 自動車会館 (山形市)	・赤十字活動紹介 ・災害救護資器材 展開体験 ・救急法(搬送)	協会員 15名 支部職員 1名 合計 16名
35	JA庄内たがわ農協 立川支部女性部 防災セミナー	1月15日(木)	庄内町 生活総合 センター (庄内町)	・災害救護資器材 展開体験 ・非常食づくり研修	JA関係者 18名 支部職員 1名 合計 19名
36	JA三川女性部防災セミナー	1月17日(土)	テオトル (三川町)	・令和6年7月25日 からの大雨災害の 日赤対応紹介 ・災害救護資器材 展開体験	JA関係者 30名 支部職員 1名 合計 31名
37	東根市社会福祉協議会 防災セミナー	2月2日(月)	東根市西部 防災センター (東根市)	・災害への備え ・災害救護資器材 展示紹介 ・災害救援物資 展示紹介	東根市福祉推進員 145名 支部職員 1名 合計 146名
38	本庄地区公民館 防災セミナー	2月4日(水)	本庄地区 公民館 (上市市)	・赤十字活動紹介 ・災害救援物資 展示紹介 ・非常食づくり研修	地域住民 30名 支部職員 1名 合計 31名
39	寒河江生活協同組合 防災セミナー	2月5日(木)	大江町 中央公民館 (大江町)	・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験 ・非常食づくり研修	おおえこ〜ぷ委員メンバー 及び地域住民 16名 支部職員 1名 合計 17名
40	大蔵村防災セミナー	2月25日(水)	大蔵村 中央公民館 (大蔵村)	・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験	民生委員 20名 支部職員 1名 合計 21名
41	河北町社会福祉協議会 防災セミナー	2月25日(水)	河北町社会 福祉協議会 (河北町)	・赤十字活動紹介 ・災害への備え ・災害救護資器材 展開体験 ・災害救援物資 展示紹介	河北町福祉推進員 50名 支部職員 1名 合計 51名
42	JAみちのく村山 村山地区女性部 防災セミナー	3月3日(火)	みちのく村山 農業協同組合 本店 (村山市)	・赤十字活動紹介 ・非常食づくり研修	JA村山地区女性部員 50名 支部職員 1名 合計 51名
43	鶴岡東高等学校奉仕部 防災セミナー	3月11日(水)	鶴岡東 高等学校 (鶴岡市)	・非常持ち出し品 検討ゲーム ・災害救護資器材 展開体験	高校生 15名 ロータリークラブ関係者 10名 支部職員 2名 合計 27名
44	山形市第五地区町内会 連合会防災セミナー	3月16日(月)	東部公民館 (山形市)	・災害エスノグラフィー ・災害救護資器材 展開体験	町内会役員 38名 支部職員 1名 合計 39名
45	三川町社会福祉協議会 防災セミナー	3月21日(土)	三川町社会 福祉センター (三川町)	・災害への備え	三川町赤十字奉仕団員 20名 支部職員 1名 合計 21名
46	村山市戸沢赤十字奉仕団 防災セミナー	3月29日(日)	村山市戸沢 地域市民 センター (村山市)	・ひなんじょたいけん	村山市戸沢赤十字奉仕団員 12名 支部職員 1名 合計 13名
合計					1,801名



近年発生する大規模災害の教訓を踏まえ、防災意識の高揚から教育現場からのセミナー開催申込が増加し、今年度は新規で3箇所の学校で非常食づくり研修やひなんじょたいけんを実施。若年層の関心も高まってきている。

### (6) 赤十字防災教育事業指導者の養成

令和6年度の赤十字防災セミナー開催実績が前年比で3倍に増加したため、指導者体制の強化を図ることを目的に、支部職員を対象に新たに指導者を養成した。

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参加者
1	支部主催赤十字防災教育事業指導者養成研修会【新規】	7月29日(火) ～31日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 3名 防災セミナー 主任指導者 1名 合計 4名

### (7) 地域包括ケアシステムへの貢献

医療・介護・予防等の包括的確保を目的とした地域包括ケアへ貢献するため、各種会議・研修に職員を派遣した。

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参加者
1	第1回地域包括ケア担当者会議(Web)	5月28日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
2	第2回地域包括ケア担当者会議	11月18日(火) ～19日(水)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
3	一般社団法人山形県地域包括支援センター等協議会 参与団体との懇談会	12月17日(水)	山形県産業創造支援センター (山形市)	支部職員 1名

### (8) 東日本大震災追悼・復興祈念事業への出展等

東日本大震災追悼・復興祈念事業(山形会場)実行委員会が山形市文翔館を会場に毎年開催する記念事業にて、日赤山形県支部(同実行委員)で震災当時の活動パネル等を掲示した。

また、震災の記憶を未来につなぐことを目的に、山形市及び隣接市町の青少年赤十字加盟高校に呼びかけを行い、4校から集まった高校生50名から「未来につなげる私たちのメッセージ」と題して、高校生によるメッセージボードの作成及びキャンドルナイト用のキャンドルづくり並びにセレモニーでのキャンドル点灯に協力いただいた。

No	参加校	参加生徒
1	山形県立山形西高等学校	14名
2	山形県立山形北高等学校	23名
3	山形県立上山明新館高等学校	11名
4	日本大学山形高等学校	2名
合 計		50名



高校生一人ひとりが未来へのメッセージを綴った



震災への思いを胸にキャンドルに火を灯す高校生



3.11を忘れずに未来へつなげる私達のメッセージ

多くの方々から寄せられたメッセージボード

(9) 被災世帯への援護

火災等で住家が被災した世帯に対して、毛布・緊急セット等の救援物資及び見舞金を交付したほか、災害による死亡者弔慰金を贈呈して被災世帯の援護を図った。

[救援物資の配付及び見舞金、弔慰金の交付状況]

被災者数	155名 61世帯	
災害救援物資の配付	毛 布	91 枚
	緊急セット	44 個
	学用品セット	4 個
災害見舞金の交付	1,000,000 円	
災害弔慰金の交付	240,000 円	



被災世帯へ配布される災害救援物資（毛布・緊急セット・学用品セット）

(10) 国内義援金の受付状況

No	義援金名	件 数	金 額
1	令和6年能登半島地震災害義援金	131 件 ( 2,086 件)	2,288,031 円 ( 214,932,331 円)
2	令和6年9月能登半島大雨災害義援金	136 件 ( 428 件)	498,835 円 ( 3,115,627 円)
3	令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	154 件 ( 442 件)	2,838,694 円 ( 3,911,384 円)
4	令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	242 件	263,819 円
5	令和7年台風第8号に伴う災害義援金	180 件	256,544 円
6	令和7年8月6日からの大雨災害義援金	290 件	1,732,465 円
7	令和7年台風第12号災害義援金	145 件	208,001 円
8	令和7年台風第15号災害静岡県義援金	174 件	703,249 円
9	令和7年台風第22号及び第23号災害義援金	144 件	369,349 円
10	令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金	214 件	874,944 円
11	令和7年青森県東方沖地震義援金	193 件	631,678 円
合 計		2,003 件 ( 4,538 件)	10,665,609 円 ( 226,999,391 円)

( )内は、受付開始からの累計受付件数及び受付額

## 2 救急法等の普及

人間のいのちと健康、尊厳を守るために、救急法等の5つの講習を通して、具体的な知識や技術を県民に広く普及し、緊急時の応急対応能力を高める。

### (1) 指導員の登録状況

救急法	水上安全法	雪上安全法	幼児安全法	健康生活支援講習	合計
115名	22名	7名	34名	6名	184名

※上記人数は、資格別登録者数。登録者実数は129名。

### (2) 救急法等講習の実施

各事業所、学校、サークル等からの開催希望に幅広く応じ、救急法等の講習会を実施した。

講習名	一般普及講習				短期講習		合計	
	基礎講習		養成講習		実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数				
救急法	31回	501名	14回	182名	332回	9,156名	377回	9,839名
水上安全法	/		2回	19名	48回	1,547名	50回	1,566名
雪上安全法			3回	13名	1回	10名	4回	23名
幼児安全法			2回	15名	71回	1,122名	73回	1,137名
健康生活支援講習			1回	3名	3回	45名	4回	48名
合計			31回	501名	22回	232名	455回	11,880名



学校や企業などの団体からの依頼を受けて講習を実施したほか、消防団の訓練にも協力し多くの方に救急法等講習を受講いただいた。

### (3) 指導員の育成

指導員と支部との連携を図るとともに、指導員及び職員の知識や技術の向上のため、各種会議・研修会等を開催した。

No	研修名	期 日	場 所	参加者
1	第1ブロック支部 講習担当者顔合わせ会 (Web)	4月10日(木)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 3名
2	支部災害救護・講習普及 担当課長会議【再掲】	4月18日(金)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
3	救急法等指導員会議	5月20日(火)	山形県総合運動公園 (天童市)	救急法等指導員 28名 支部職員 5名 合計 33名
4	第1回講習事業100周年 記念企画実行委員会	5月23日(金)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
5	第1ブロック 事業推進課長会議【再掲】	6月12日(木) ～13日(金)	日赤北海道支部 (北海道)	支部職員 1名
6	第3回講習事業100周年 記念企画実行委員会 (Web)	7月15日(火)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
7	第4回講習事業100周年 記念企画実行委員会	8月4日(月) ～5日(火)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
8	赤十字講習担当者研修会	9月29日(月) ～30日(火)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
9	第5回講習事業100周年 記念企画実行委員会 (Web)	10月22日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
10	赤十字健康生活支援講習 講師研修会	12月2日(火) ～3日(水)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
11	第2回救急救命率向上 対策専門部会(Web)	12月3日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
12	赤十字幼児安全法 講師研修会	12月3日(水) ～4日(木)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
13	赤十字救急法講師研修会	12月18日(木) ～19日(金)	東京都赤十字 血液センター (東京都)	支部職員 1名
14	赤十字水上安全法講師 研修会	2月4日(水)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
15	第6回講習事業100周年 記念企画実行委員会	2月9日(月) ～10日(火)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
16	水上安全法指導員研修会	3月22日(日) 及び29日(日)	日赤県支部(山形市) 及び 酒田市地域福祉 センター(酒田市)	水上安全法指導員 9名 支部職員 1名 合計 10名
17	救急法・幼児安全法指導員 研修会	3月27日(金) ～29日(日)	山形県総合運動公園 (天童市) 及び 天童市総合福祉 センター(天童市)	救急法・幼児安全法指導員 50名 支部職員 5名 合計 55名

### (4) イベントを活用した救急法等の普及

一次救命処置の大切さを多くの県民の方に普及し、いのちの大切さについて広めていくために、フェスタや商業施設等で一次救命処置体験コーナーを設置した。

No	行事名	期 日	場 所	参加者
1	「スプリングフェスティバル はたらくるるま大集合」 での一次救命処置体験 コーナーの設置	5月5日(月)	山形市中心商店街 (山形市)	体験者 520名 救急法等指導員 2名 山形レスキュー・サポート・バイク赤十字奉仕団員 10名 支部職員 3名 合計 535名

No	行事名	期 日	場 所	参加者
2	「鶴岡市子どもまつり」での一次救命処置体験コーナーの設置【新規】	5月18日(日)	朝陽武道館 (鶴岡市)	体験者 60名 救急法等指導員 2名 支部職員 2名 合 計 64名
3	「イオンモール三川 はたらくクルマ展」での一次救命処置体験コーナーの設置	6月8日(日)	イオンモール三川 (三川町)	体験者 156名 救急法等指導員 2名 支部職員 1名 合 計 159名
4	「まちのお仕事体験 in イオンモール天童」での一次救命処置体験コーナーの設置【新規】	9月15日(月)	イオンモール天童 (天童市)	体験者 220名 救急法等指導員 2名 支部職員 1名 合 計 223名
5	「くるんと防災フェスタ」での一次救命処置体験コーナーの設置【新規】	9月28日(日)	遊びと学びの交流施設 「くるんと」 (長井市)	体験者 150名 救急法等指導員 1名 支部職員 1名 合 計 152名
6	「赤十字フェスタ in ひがしね」での一次救命処置体験コーナーの設置	10月13日(月)	ひがしね あそびあランド (東根市)	体験者 75名 救急法等指導員 2名 支部職員 2名 合 計 79名
7	「新庄病院健康まつり」での一次救命処置体験コーナーの設置【新規】	10月26日(日)	県立新庄病院 (新庄市)	体験者 60名 救急法等指導員 1名 支部職員 2名 合 計 63名
8	「赤十字フェスタ in たかはた」での一次救命処置体験コーナーの設置	11月3日(月)	町立図書館駐車場 (高畠町)	体験者 70名 救急法等指導員 2名 支部職員 2名 合 計 74名
9	「べにっこひろば」での一次救命処置体験コーナーの設置	2月26日(木)	べにっこひろば (山形市)	体験者 6名 救急法等指導員 1名 支部職員 1名 合 計 8名
10	「べにっこひろば」での一次救命処置体験コーナーの設置	3月16日(月)	べにっこひろば (山形市)	体験者 13名 救急法等指導員 1名 支部職員 1名 合 計 15名



イベントに参加した親子など多くの方から一次救命処置体験ブースを訪れていただき、心肺蘇生やAEDトレーナーを用いた電気ショックなどを体験いただいた

### 3 赤十字奉仕団

地域社会における赤十字運動を推進していくため、赤十字奉仕団の育成と技術の向上に努める。

#### (1) 赤十字奉仕団の登録状況

区分	団数	団員数
地域奉仕団	32 団	1,558 名 ( 男性 506 名、女性 1,052 名 )
特殊奉仕団	5 団	215 名 ( 男性 144 名、女性 71 名 )
青年奉仕団	2 団	167 名 ( 男性 5 名、女性 162 名 )
合計	39 団	1,940 名 ( 男性 655 名、女性 1,285 名 )

#### (2) 赤十字奉仕団指導講師の委嘱

赤十字奉仕団活動の活性化と支部事業の推進を図ることを目的に、奉仕活動に精通し、ボランティア活動に対する様々な指導・助言等の役割を担う赤十字奉仕団指導講師を4名委嘱し、活動いただいた。

[指導講師の委嘱状況]

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	合計
1名	0名	3名	0名	4名

#### (3) 本社・支部主催の各種研修・会議の開催状況

奉仕団活動の推進を図るため、各種研修・会議を開催した。

No	研修・行事名	期日	場所	参加者
1	第1回赤十字奉仕団 山形県支部委員会	4月23日(水)	日本赤十字社 山形ロジスティクス センター (山形市)	県支部委員会委員 6名 支部職員 4名 合計 10名
2	赤十字奉仕団委員長会議	4月23日(水)	日本赤十字社 山形ロジスティクス センター (山形市)	奉仕団委員長 21名 支部職員 5名 合計 26名
3	第1回青年赤十字奉仕団 全国協議会(Web)	5月17日(土)	自宅	ボランティアサークル 清い翼青年赤十字奉仕団委員長 1名
4	第1回赤十字ユース委員会	5月18日(日)	日赤本社 (東京都)	ボランティアサークル 清い翼青年赤十字奉仕団員 1名
5	支部赤十字奉仕団担当者 研修会	6月16日(土)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
6	赤十字奉仕団中央委員会	7月3日(木) ～4日(金)	日赤本社 (東京都)	県支部委員会委員長 1名 (舟形町堀内赤十字奉仕団委員長) 支部職員 1名 合計 2名
7	全国青少年赤十字賛助 奉仕団協議会総会	7月8日(火) ～9日(水)	日赤本社 (東京都)	山形県青少年赤十字 賛助奉仕団副委員長 1名
8	赤十字ボランティア・リーダー 研修会	8月23日(土) ～25日(月)	日赤本社 (東京都)	米沢市赤十字奉仕団 委員長 1名
9	赤十字奉仕団視察研修	9月11日(木) ～12日(金)	日赤東北看護大学 (秋田県秋田市)	奉仕団員 10名 支部職員 3名 合計 13名
10	赤十字奉仕団第1ブロック 委員長会議・担当者会議	9月18日(木) ～19日(金)	いわて県民情報 交流センター アイーナ (岩手県盛岡市)	県支部委員会委員長 1名 (舟形町堀内赤十字奉仕団委員長) 支部職員 1名 合計 2名
11	第2回赤十字奉仕団 山形県支部委員会	11月12日(水) ～13日(木)	ほほえみの宿 滝の湯 (天童市)	県支部委員会委員 4名 支部職員 4名 合計 8名

No	研修・行事名	期 日	場 所	参加者
12	赤十字奉仕団指導講師会議	12月18日(木)	日本赤十字社 山形ロジスティクス センター (山形市)	奉仕団指導講師 4名 支部職員 4名 合 計 8名
13	第2回青年赤十字奉仕団全国協議会(Web)	1月17日(土)	自宅	ボランティアサークル 清い翼青年赤十字奉仕団員 1名
14	第2回赤十字ユース委員会(Web)	1月18日(日)	自宅	ボランティアサークル 清い翼青年赤十字奉仕団員 1名
15	赤十字ボランティア・リーダーシップ研修会	1月18日(日)	日本赤十字社 山形ロジスティクス センター (山形市)	奉仕団員 18名 奉仕団指導講師 4名 支部職員 3名 合 計 25名
16	赤十字奉仕団指導講師研修会	2月13日(金) ～15日(日)	日赤本社 (東京都)	奉仕団指導講師 2名



赤十字奉仕団視察研修(秋田県)で救護看護師についての資料やドクターヘリの見学を行った

#### (4) 赤十字奉仕団ワールドカフェの実施

赤十字奉仕団相互の情報交換及び交流の場を提供し、自団の活動の参考にさせていただくとともに、支部の赤十字奉仕団関係事業へのご意見をいただくため実施した。

No	期 日	対象地域及び場所	参加者
1	11月8日(土)	最上地域 いきいきランドぼんぼ館	奉仕団員 (4団) 9名 支部職員 3名 合 計 12名
2	11月22日(土)	村山地域 さくらんぼタントクルセンター	奉仕団員 (3団) 7名 支部職員 2名 合 計 9名



同じ地域の奉仕団同士で活動内容の情報交換などを行った

(5) 東日本大震災復興支援事業の実施

赤十字奉仕団が計画・実施した東日本大震災復興支援事業に、支部として事業実施を支援した。

行事名	期 日	場 所	参加者	
令和7年度 東日本大震災復興支援事業	10月26日(日) ～27日(月)	気仙沼市大沢 地区大沢集会所 (宮城県気仙沼市)	地域住民	60名
			高島町赤十字奉仕団	11名
			支部職員	2名
			合 計	73名



オカリナ演奏で一緒に歌いながら交流



地域住民へ芋煮のふるまい



ハートラちゃんワッペンづくりをしながら交流



奉仕団と地域住民の記念撮影

(6) 奉仕団主催の研修・行事等開催状況

各団では、団員育成や地域における赤十字事業の普及のため、各種研修・行事等を開催した。

No	研修名	期 日	場 所	参加者	
1	令和7年度特養光会・長井市赤十字奉仕団総会	4月19日(土)	ウエルフェア慈光園 ドリームホール (長井市)	奉仕団員	80名
				支部職員	2名
				合 計	82名
2	山形県青少年赤十字賛助奉仕団総会	4月27日(日)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団員	10名
				支部職員	2名
				合 計	12名
3	白鷹町こぶし会赤十字奉仕団総会	5月9日(金)	荒砥コミュニティセンター (白鷹町)	奉仕団員	20名
				赤十字奉仕団指導講師	1名
				支部職員	1名
				合 計	22名
4	山形県青少年赤十字賛助奉仕団第1回役員会	7月25日(金)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団員	8名
				支部職員	2名
				合 計	10名
5	山形県青少年赤十字賛助奉仕団第2回役員会	9月5日(金)	山形県赤十字血液センター (山形市)	奉仕団員	8名
				支部職員	2名
				合 計	10名
6	白鷹町こぶし会赤十字奉仕団血液センター見学	9月30日(火)	山形県赤十字血液センター (山形市)	奉仕団員	8名
				血液センター職員	2名
				支部職員	1名
				合 計	11名
7	山形県青少年赤十字賛助奉仕団団員研修	10月14日(火) ～15日(水)	戸沢村・酒田市内	奉仕団員	9名
				支部職員	1名
				合 計	10名
8	白鷹町わかあゆ会赤十字奉仕団血液センター見学	10月30日(木)	山形県赤十字血液センター (山形市)	奉仕団員	14名
				血液センター職員	2名
				支部職員	1名
				合 計	17名

No	研修名	期 日	場 所	参加者
9	山形県青少年赤十字 賛助奉仕団第3回役員会	11月7日(金)	日赤県支部 (山形市)	奉仕団員 10名 支部職員 1名 合 計 11名
10	東根市蟹沢赤十字奉仕団 血液センター及び山形ロジ スティクス・センター見学	1月28日(水)	山形県赤十字 血液センター・ 日本赤十字社 山形ロジスティクス センター (山形市)	奉仕団員 17名 支部職員 3名 合 計 20名

#### (7) 奉仕団主催の会合・研修の開催に合わせた赤十字ボランティア基礎研修会の開催

赤十字奉仕団に所属している団員の方々に対し、赤十字の組織、役割、赤十字ボランティアとして活動するための必要な知識等についてご理解いただき、赤十字ボランティアとしての意識の高揚を図ることを目的として各団主催の会合・研修開催時に合わせて、基礎研修会を開催した。

No	研修名	期 日	場 所	参加者
1	赤十字ボランティア基礎研修 (鮭川村赤十字奉仕団)	4月22日(火)	鮭川村役場 (鮭川村)	奉仕団員 25名 支部職員 1名 合 計 26名
2	赤十字ボランティア基礎研修 (白鷹町わかあゆ会赤十字 奉仕団)	8月3日(日)	鮎貝地区 コミュニティセンター ハーモニープラザ (白鷹町)	奉仕団員 15名 支部職員 1名 合 計 16名
3	赤十字ボランティア基礎研修 (高島町赤十字奉仕団)	3月8日(日)	糠野目生涯学習館 (高島町)	奉仕団員 28名 支部職員 2名 合 計 30名

#### (8) 赤十字奉仕団主催地域イベントなどの共同開催

県民から広く赤十字事業にご理解とご協力をいただくため、赤十字活動を実際に見て、触れて体験いただく赤十字フェスタを地域赤十字奉仕団と共同開催した。

No	主催者・イベント名	期 日	場 所	参加者
1	東根市蟹沢赤十字奉仕団 「2025赤十字フェスタ inひがしね」	10月13日(月)	ひがしね あそびあランド (東根市)	来場者 681名 東根市蟹沢赤十字奉仕団員 7名 救急法等指導員 2名 支部・血液センター職員 8名 合 計 698名
2	高島町赤十字奉仕団 「2025赤十字フェスタ inたかはた」	11月3日(月)	町立図書館駐車場 (高島町)	来場者 200名 高島町赤十字奉仕団員 14名 救急法等指導員 2名 明治安田生命職員 5名 支部職員 4名 合 計 225名

#### (9) 活動助成金の交付状況

各団のボランティア活動を推進するため、申請に応じて1団につき上限を11万円として活動助成金を交付した。

区 分	申請団数	交付額
地 域 奉 仕 団	24 団	2,115,000 円
特 殊 奉 仕 団	5 団	550,000 円
青 年 奉 仕 団	0 団	0 円
合 計	29 団	2,665,000 円

## 4 青少年赤十字

次世代を担う児童・生徒が、赤十字を正しく理解し、世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年の育成に努める。

### (1) 青少年赤十字加盟登録状況

地区	校種別区分	幼稚園 保育園	小学校 ※義務教育 学校を含む	中学校	高等学校	特別支援 学 校	合 計
村 山	園・学校数	166 園	102 校	41 校	25 校	12 校	346 校
	加盟校数	13 園	38 校	30 校	11 校	1 校	93 校
	加盟率	7.8 %	37.3 %	73.2 %	44.0 %	8.3 %	26.9 %
	メンバー数	1,099 名	7,705 名	7,800 名	1,055 名	10 名	17,669 名
最 上	園・学校数	25 園	19 校	12 校	7 校	1 校	64 校
	加盟校数	2 園	16 校	9 校	0 校	0 校	27 校
	加盟率	8.0 %	84.2 %	75.0 %	0.0 %	0.0 %	42.2 %
	メンバー数	174 名	2,745 名	1,542 名	0 名	0 名	4,461 名
置 賜	園・学校数	62 園	47 校	18 校	14 校	4 校	145 校
	加盟校数	5 園	21 校	6 校	7 校	0 校	39 校
	加盟率	8.1 %	44.7 %	33.3 %	50.0 %	0.0 %	26.9 %
	メンバー数	265 名	3,241 名	1,835 名	161 名	0 名	5,502 名
庄 内	園・学校数	99 園	56 校	22 校	16 校	3 校	196 校
	加盟校数	2 園	11 校	1 校	5 校	1 校	20 校
	加盟率	2.0 %	19.6 %	4.5 %	31.3 %	33.3 %	10.2 %
	メンバー数	214 名	2,162 名	322 名	363 名	45 名	3,106 名
合 計	園・学校数	352 園	224 校	93 校	62 校	20 校	751 校
	加盟校数	22 園	86 校	46 校	23 校	2 校	179 校
	加盟率	6.3 %	38.4 %	49.5 %	37.1 %	10.0 %	23.8 %
	メンバー数	1,752 名	15,853 名	11,499 名	1,579 名	55 名	30,738 名

<令和7年度新規加盟校(園):1園>

○学校法人蔵王きぼう学園蔵王めぐみこども園

### (2) 青少年赤十字指導講師の委嘱

青少年赤十字活動の充実及び普及拡大並びに広く赤十字事業を推進するため、青少年赤十字加盟校の元校長を青少年赤十字指導講師として委嘱し、活動していただいた。

[県内学校等への指導講師の委嘱状況]

村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区	合 計
2名	1名	2名	1名	6名

### (3) 青少年赤十字指導講師及び支部青少年赤十字推進員の活動状況

青少年赤十字未加盟校への加盟勧奨、青少年赤十字加盟校への指導・助言、県及び市町村教育委員会との連絡調整などを行った。

[訪問回数]

青少年赤十字指導講師	支部青少年赤十字推進員	合 計
52回	35回	87回

### (4) 本社主催等各種会議・研修会への指導者の派遣

青少年赤十字への理解と認識を高め、青少年赤十字指導者の養成を図るため、指導者を派遣した。

No	会議・研修会名	期 日	場 所	派遣者
1	青少年赤十字担当者説明会(Web)	4月18日(金)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 2名
2	青少年赤十字リーダーシップ・ トレーニング・センター 指導者養成講習会	5月30日(金) ～ 6月1日(日)	国立オリンピック 記念青少年総合 センター (東京都)	支部職員 1名

No	会議・研修会名	期 日	場 所	派遣者
3	青少年赤十字全国指導者協議会 総会・研修会	7月4日(金)	日本自動車会館 及び日赤本社 (東京都)	山形県指導者協議会会長 1名 (山形県立山形北高等学校長)
4	青少年赤十字研究会	8月6日(水)	日赤本社 (東京都)	県教育局義務教育課 指導主事 1名
5	第1ブロック支部青少年赤十字 指導者研究会	10月23日(木) ～24日(金)	南山形小学校 及び山形テルサ (山形市)	第1ブロック内加盟校指導者 9名 県内加盟校指導者 8名 山形市教育委員会主任指導主事 1名 南山形小学校教員 5名 山形県指導者協議会会長 1名 青少年赤十字指導講師 2名 青少年赤十字賛助奉仕団 2名 支部職員 8名 合計 36名



第1ブロック支部青少年赤十字指導者研究会の様子。防災をテーマにした公開授業と研修を行った。

#### (5) 県支部主催各種会議・研修会等の開催

青少年赤十字活動の活性化を図るため、各種会議・研修会等を開催した。

No	会議・研修会名	期 日	場 所	参加者
1	第1回青少年赤十字指導講師 打合せ会	6月10日(火)	日赤県支部 (山形市)	青少年赤十字指導講師 4名 支部職員 5名 合計 9名
2	第2回青少年赤十字指導講師 打合せ会	11月20日(木)	日赤県支部 (山形市)	青少年赤十字指導講師 2名 支部職員 2名 合計 4名
3	山形県青少年赤十字指導者協議会 理事・幹事会及び 青少年赤十字研究発表会	11月20日(木)	日赤県支部 及び各加盟校 (山形市・ ハイブリッド開催)	県教委義務教育課 多様な学び推進室長 1名 庄内教育事務所 指導主事 1名 山形県指導者協議会会長 1名 理事・幹事 13名 研究推進校発表者 3名 青少年赤十字指導講師 2名 青少年赤十字賛助奉仕団 1名 支部職員 3名 合計 25名

#### (6) 防災教育出前授業の実施

青少年赤十字防災教育プログラムを活用し、防災・減災につながる出前授業を実施した。

No	学校・団体名	期 日	場 所	参加者
1	最上教育事務所	8月7日(木)	雪の里情報館 (新庄市)	最上地区中学生 14名 支部職員 2名 合計 16名
2	山形市立 南山形小学校	11月5日(水)	山形市立 南山形小学校	5年生 30名 支部職員 1名 合計 31名
3	三川町立横山小学校	11月25日(火)	三川町立横山小学校	6年生 31名 三川町赤十字奉仕団 6名 支部職員 1名 合計 38名
				参加者数合計 85名

(7) 児童・生徒、メンバーの育成

① 青少年赤十字リーダーシップ研修の実施

青少年赤十字活動におけるリーダーを養成するためのリーダーシップ研修については、広域からの参加を見込み実施した。

No	研修会名	期 日	場 所	参加者
1	高等学校青少年赤十字リーダーシップ研修	5月31日(土)	山形テルサ(山形市)	青少年赤十字高校生メンバー 36名 青少年赤十字加盟高校指導者 1名 青少年赤十字指導講師 3名 山形県青少年赤十字賛助奉仕団 7名 支部職員 2名 合 計 49名
2	小・中学校青少年赤十字リーダーシップ研修	8月1日(金)	新庄市民プラザ(新庄市)	青少年赤十字小・中学生メンバー 45名 青少年赤十字加盟中学校指導者 5名 青少年赤十字指導講師 3名 山形県青少年赤十字賛助奉仕団 1名 支部職員 2名 合 計 56名
3	高等学校青少年赤十字リーダーシップ研修	9月13日(土)～14日(日)	山形テルサ(山形市)及び山形県青年の家(天童市)	青少年赤十字高校生メンバー 23名 青少年赤十字加盟高校指導者 2名 ボランティアサークル清い翼 青年赤十字奉仕団 1名 青少年赤十字指導講師 4名 山形県青少年赤十字賛助奉仕団 2名 支部職員 3名 合 計 35名
4	中学校青少年赤十字リーダーシップ研修(Web)	11月29日(土)	各加盟校及び日赤県支部(山形市)	青少年赤十字中学生メンバー 23名 青少年赤十字加盟中学校指導者 2名 青少年赤十字指導講師 3名 山形県青少年赤十字賛助奉仕団 1名 支部職員 2名 合 計 31名
5	レッドクロスキッズやまがた	2月14日(土)	日赤県支部(山形市)	参加小学生及び保護者 22名 青少年赤十字高校生メンバー 3名 青少年赤十字指導講師 4名 山形県青少年赤十字賛助奉仕団 2名 支部職員 3名 合 計 34名



小・中学校リーダーシップ研修



レッドクロスキッズやまがた

② 山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会

総会や役員会等の活動を行うとともに、総会では、令和7年度の具体的な活動の方向性が提案され、承認された。

No	会議・研修会名	期 日	場 所	参加者
1	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会第1回役員会	5月4日(日)	日赤県支部(山形市)	山形県高等学校連絡協議会役員 16名 支部職員 2名 合 計 18名
2	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会第2回役員会(Web)	7月30日(水)	各加盟校及び日赤県支部(山形市)	山形県高等学校連絡協議会役員 14名 支部職員 2名 合 計 16名

No	会議・研修会名	期日	場 所	参加者
3	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会総会及び研究集会(ハイブリッド)	8月17日(日)	各加盟校及び山形テルサ(山形市)	青少年赤十字高校生メンバー 62名 青少年赤十字加盟高等学校指導者 5名 山形県指導者協議会会長 1名 青少年赤十字指導講師 3名 山形県青少年赤十字賛助奉仕団 3名 支部職員 2名 合 計 76名
4	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会第3回役員会	9月13日(土)	山形テルサ(山形市)	山形県高等学校連絡協議会役員 14名 支部職員 2名 合 計 16名
5	山形県高等学校青少年赤十字連絡協議会第4回役員会(Web)	1月30日(金)	各加盟校及び日赤県支部(山形市)	山形県高等学校連絡協議会役員 14名 支部職員 2名 山形県青少年赤十字賛助奉仕団 1名 合 計 17名

(8) 本社主催研修会への青少年赤十字メンバーの派遣

青少年赤十字活動におけるリーダーを養成すること等を目的に、本社主催の研修会に青少年赤十字メンバーを派遣した。

No	研修会名	期日	場 所	派遣者
1	青少年赤十字スタディー・センター	3月22日(日) 26日(木)	東照館(山梨県)	青少年赤十字高校生メンバー 2名 ボランティアサークル清い翼 1名 青年赤十字奉仕団員(運営スタッフ) 1名 合 計 3名

(9) 研究推進校の委嘱

活発な青少年赤十字活動を推進するため、研究推進校として6校を委嘱し、1校につき7万円の助成金を交付した。

No	学校名	テーマ	委嘱年度
1	村山市立楯岡小学校	「自分で 自分たちで 考える 決める 行動する」子供の育成を目指して	令和6年度 ～令和7年度
2	真室川町立真室川中学校	「気づき、考え、実行する」ことができる生徒の育成のために	
3	鶴岡東高等学校	「生涯教育の一環として高校生のボランティア層の拡大と推進」～奉仕活動を通じたボランティア精神の涵養と活動の広がり进行を考察する～	
4	米沢市立西部小学校	主体的なボランティア～本物のボランティアってなんだろう～	令和7年度 ～令和8年度
5	山辺町立山辺中学校	地域とつながり、地域とともに歩む生徒の育成	
6	県立荒砥高等学校	克己復禮～健やかな心と身体を作り、地域とともに育つ荒高生を目指して～	
助成金交付合計額		420,000円(6校×70,000円)	

(10) 青少年赤十字国際交流事業

交流の機会を通じて、平和な国際社会の実現を目指すとともに、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」の実践の機会とするため、下記のとおり青少年赤十字加盟校の高校生及び指導者を派遣した。

名称	期日	場所	参加者		
日本赤十字社山形県支部 青少年赤十字国際交流事業	12月22日(月) ～27日(土)	大韓赤十字社 大邱支社 外 (大邱広域市)	青少年赤十字高校生メンバー	9名	合計 14名
			現職教員等	2名	
			支部職員	3名	
交流内容 ・大韓赤十字社大邱支社RCYメンバーとの文化交流、奉仕活動等の体験 ・献血ルーム等赤十字関連施設や世界遺産の見学					



文化交流や、合同で奉仕活動(貧困世帯へ配布するクリスマスケーキ作り)などを行った。  
また、料理や世界遺産の見学などを通し、韓国の歴史と文化に触れることができた。

## 5 国際活動

国際赤十字の一員として、開発途上国における健康・安全の確保や、海外の災害や紛争の被災者支援など、海外の救援・支援ニーズにあわせた人道的活動を展開する。

### (1) 第1ブロック支部合同国際活動

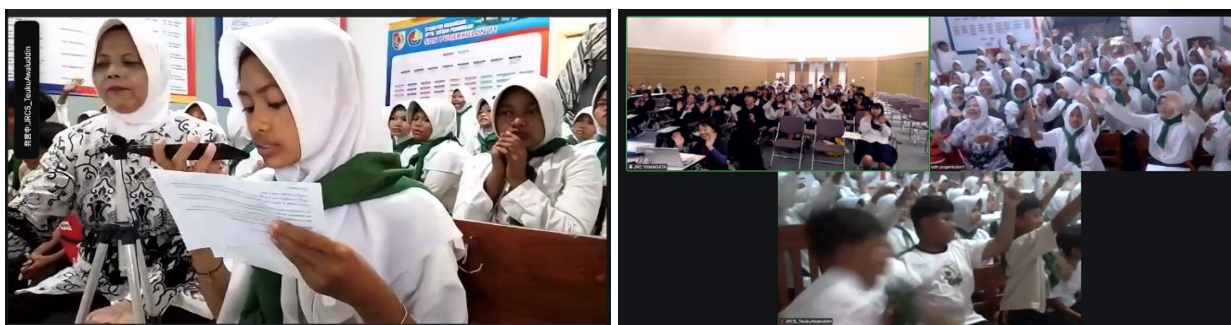
本社が直接実施している海外での救援及び開発協力活動のうち、次の活動について、北海道・東北ブロック支部共同事業として資金の支援を行った。

No	事業名	支援先	金額
1	救急法普及支援事業	ラオス	173,000 円
2	青少年赤十字海外支援事業	バヌアツ	174,000 円
3	気候変動等レジリエンス強化事業	ルワンダ	174,000 円
4	気候変動対策事業	アフガニスタン	174,000 円
合計			695,000 円

### (2) 開発途上国への教育支援事業

県高等学校青少年赤十字連絡協議会が中心となり、加盟校や地区区分等へ呼びかけを行い、原資となる書き損じはがきの回収事業を行っている。書き損じはがき回収事業で得た原資から、本社及びインドネシア赤十字社を通し、インドネシアのジェンバル県の小学校へ防災教育教材である「防災ノートブック」を贈呈した。

(また、令和8年5月23日(土)には、支援先の小学校と県内の高校生メンバーがWEBでの交流を行い、青少年赤十字の実践目標の一つである「国際理解・親善」を図った。)



それぞれの活動を共有した他、山形県メンバーからは本県に関するクイズを出すなど交流を深めた。  
(令和8年5月23日・Web交流の様子)

### (3) 海外救援事業のための募金活動

#### ① 海外救援金の受付

海外における自然災害の被災者や紛争犠牲者等を支援するため、海外救援金を受け付けた。

No	救援金名	件数	金額
1	中東人道危機救援金	3 件 ( 95 件)	3,030 円 ( 331,132 円)
2	バングラデシュ南部避難民救援金	2 件 ( 125 件)	2,033 円 ( 145,922 円)
3	ウクライナ人道危機救援金	85 件 ( 1,051 件)	506,527 円 ( 34,915,765 円)
4	2025年ミャンマー地震救援金	237 件	1,631,102 円
5	2025年アフガニスタン地震救援金	131 件	119,720 円
6	2025年パキスタン洪水救援金	50 件	45,066 円
7	イラン及び周辺国人道危機救援金	32 件	50,759 円
8	海外救援金(無指定)	4 件	111,581 円
合計		544 件 ( 1,725 件)	2,469,818 円 ( 37,351,047 円)
9	令和7年度NHK海外たすけあいキャンペーン寄付金	287 件	914,031 円
合計		831 件 ( 2,012 件)	3,383,849 円 ( 38,265,078 円)

( )内は、受付開始からの累計受付件数及び受付額

## ② NHK海外たすけあいキャンペーンの実施

12月1日～25日まで実施した同キャンペーンの一環として、赤十字奉仕団員及び青少年赤十字メンバーから協力を得て、街頭募金活動を実施した。

支部主体で実施した商業施設4ヶ所のほか、昨年度に引き続き、地域奉仕団主体での街頭募金活動を県内7ヶ所で実施し、多くの県民の方々からご協力をいただいた。

期 日	場 所	参 加 者
12月7日(日)	県内スーパーマーケット 及び公共施設等 計11ヶ所 (支部主体4ヶ所、奉仕団主体7ヶ所)	赤十字奉仕団 85名 青少年赤十字中・高校生メンバー 36名 支部職員 9名 合計 130名



県内各地で多くの県民の方々から多くのご協力をいただいた

## (4) 国際活動に関する勉強会・セミナーへの参加

海外における災害や人道危機に対する赤十字社の活動への理解を深め、国際活動について一般の人々に説明するための知識を学ぶ勉強会に支部職員が参加した。

No.	研修・会議名	期 日	場 所	参加者
1	第1回国際活動オンライン勉強会(Web)	9月3日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
2	第2回国際活動オンライン勉強会(Web)	10月8日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
3	第3回国際活動オンライン勉強会(Web)	10月22日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
4	第4回国際活動オンライン勉強会(Web)	11月12日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名
5	国際人道法普及セミナー(Web)	2月17日(火) ～18日(水)	日赤県支部 (山形市)	支部職員 1名

## 6 財政基盤の強化

安定的な財政基盤を構築するため、地区区分及び関係機関の理解と協力を得ながら、活動財源である会費及び寄付金の募集を行うとともに、赤十字事業を推進するために、企業や団体と双方向での有益な関係作りを図る。

### (1) 社資(会費及び寄付金)収入状況

地区区分における社資募集については、地域に根差した社資募集を実施いただいた。

支部における社資募集については、法人社資の増強方策として、昨年に引き続き個別訪問による協力依頼を県内262社を対象に実施するなど、財政基盤の安定強化に取り組んだ。

項目		目標額	収入額	収入率
地区区分取扱社資	一般社資	206,561,000 円	182,469,166 円	90.4 %
	法人社資		4,334,324 円	
	計	206,561,000 円	186,803,490 円	
支部取扱社資	一般社資	6,123,000 円	6,326,189 円	103.3 %
	法人社資	21,730,000 円	26,067,567 円	120.0 %
	計	27,853,000 円	32,393,756 円	116.3 %
個人住民税控除適用海外救援金			149,696 円	
合計		234,414,000 円	219,346,942 円	93.6 %

### (2) 赤十字寄付金付自動販売機の設置の普及

企業や団体、地区区分に対して、売上の一部が赤十字への寄付金となる自動販売機の設置について広く普及に努めた。

区分	設置先	設置台数	寄付額
企業・団体	12ヶ所	17台	228,228 円
地区区分	3ヶ所	3台	22,480 円
支部・センター	2ヶ所	2台	11,491 円
合計	17ヶ所	22台	262,199 円

<令和7年度新規設置数:2ヶ所、2台>

県庁1階北側出入口前  
設置自動販売機



### (3) 遺贈・相続財産寄付の受入体制の強化

遺贈・相続財産寄付に関する制度の周知・普及に努めるとともに、関心のある方や希望者が必要とする事項に対し、速やかに対応し、遺贈等の受入に関する業務を円滑に推進することを目的に、令和7年3月6日に山形県司法書士会と「遺贈・相続財産寄付業務の推進に関する協定書」を締結した。

山形県司法書士会員に対し、日本赤十字社が受遺団体であることを周知することを目的に、会員対象の総会・研修会に職員を派遣した。

No	行事名	期日	場所	派遣者
1	山形県司法書士会総会	5月23日(金)	山形グランドホテル (山形市)	支部職員 2名
2	山形県司法書士会 会員研修会	9月18日(土)	食糧会館 (山形市)	支部職員 2名



山形県司法書士総会で赤十字の展示ブースを出展した

(4) 本社主催等の各種研修・行事等の開催

社業振興の推進を図るため、各種会議・研修会を開催したほか、職員を派遣した。

No	行事名	期 日	場 所	派遣者
1	第1回地区分区幹事会議	4月11日(金)	山形県 自治会館 (山形市)	地区分区幹事 他 37名 支部・センター職員 8名 合 計 45名
2	地区分区事務担当者会議	4月22日(火)	山形県 自治会館 (山形市)	地区分区事務委員 37名 支部職員 10名 合 計 47名
3	全国赤十字大会	5月13日(火)	東京都 明治神宮会館 (東京都)	理事・代議員・有功会員 4名 奉仕団員 2名 JRC指導者 2名 救急法等指導員 3名 地区分区幹事 他 9名 支部・センター職員 8名 合 計 28名
4	第1ブロック支部 組織振興課長会議(ハイブリッド)	7月3日(木) ～4日(金)	日赤福島県支部 (福島県)	支部職員 1名
5	日本赤十字社ファンドレイ ジングセミナー2025	9月3日(水) ～4日(木)	日赤本社 (東京都)	支部職員 1名
6	第2回地区分区幹事会議	11月11日(火)	山形県 自治会館 (山形市)	地区分区幹事 他 35名 支部・センター職員 8名 合 計 43名

(5) 赤十字関係者の集い「もっとクロス！やまがた」の開催

赤十字活動の推進のため、赤十字を支える個人並びに関係団体と情報を共有し、互いの連携強化を図りながら絆を深めるために、「もっとクロス！やまがた」を開催した。

- 日 時 令和7年11月18日(火)  
 会 場 山形国際ホテル  
 参加者 123名  
 内 容 ①活動報告会  
 「災害に備えること  
 ～一人ひとりの防災意識の向上に向けて～」  
 ②活動発表  
 青少年赤十字部門、献血活動部門  
 ③講演  
 「赤十字の国際活動と国際人道法」 本社国際部次長兼企画課長 大山啓都  
 ④表彰伝達式  
 個人 1名、法人 5社



本社大山国際部次長の講演

(6) 赤十字功労者に対する顕彰

赤十字事業の推進に多大な功労のあった方々に対し、その功績を称え、顕彰を行った。

① 社資功労及び業務功労功労者に対する表彰状況

ア 社資功労

※ 日本赤十字社有功章等贈与規則に基づく

表彰区分 功労区分	日本赤十字社 社長感謝状	金色有功章	銀色有功章	支部長 感謝状	支部長 表彰状	合 計
社資(個人)	2	2	5	25	5	39 件
社資(法人)	21	8	18			47 件
合 計	23	10	23	25	5	86 件

イ 業務功労

※ 日本赤十字社有功章等贈与規則に基づく

表彰区分 功労区分	日本赤十字社 社長感謝状	金色有功章	銀色有功章	金柁支部長 感謝状	銀柁支部長 感謝状	合計
役職		1				1件
協賛委員		2	7	30	80	119件
奉仕者				1		1件
献血者		57	103			160件
青少年赤十字指導者						0件
奉仕団						0件
青少年赤十字加盟校	14	4	5		5	28件
献血団体	2		1	4	14	21件
献血推進団体	1			1	1	3件
合計	17	64	116	36	100	333件

表彰制度について

赤十字活動資金のご協力に対しては、日本赤十字社や国からの表彰制度がございます。

■ 国の表彰

紺綬褒章(個人500万円以上、法人1,000万円以上)

厚生労働大臣感謝状(個人100万円以上、法人300万円以上)

※一次または同一年度の累計

※一時または同一年度の累計

■ 日本赤十字社社長感謝状

金色有功章受章後、  
50万円以上納められた都度

■ 金色有功章 50万円以上を納められた方

(個人)



金色有功章章記

徽章

男章

女章

(法人)



金色有功章楯

徽章

■ 銀色有功章 20万円以上を納められた方

(個人・法人)



銀色有功章楯

徽章

■ 特別社員 会費2,000円×10年または一括20,000円を納められた方



特別社員章

(7) 赤十字会員等に対する弔意

長年にわたり、赤十字を支えていただいた赤十字会員等がご逝去された際に、弔詞及びローソクを奉呈し、弔意を表した。

種類	弔詞	無地ローソク(2本組)	絵ローソク(2本組)
地区区分への送付数	9,393部	3,774セット	6,004セット

## 7 広報活動

より多くの人々から、赤十字事業を正しく理解いただくため、周知と普及を図る。

### (1) 広報誌「赤十字やまがた」の発行

5月の赤十字運動月間に合わせ、県民に広く赤十字運動に参加いただくため、全戸配付用広報誌を37万1千部発行し、地区区分を通じて配布した。

### (2) 赤十字NEWSによる情報発信

「赤十字NEWS」を赤十字関係者に毎月送付するとともに(700部/月)、会員向け情報誌「Cross Com-BOOK」を希望する赤十字会員に対し年2回送付し、情報発信に努めた。

### (3) 支部ホームページ及びソーシャルメディアによる情報発信

災害救護をはじめとする支部の取り組みや県内赤十字関係者の活動について、支部ホームページに加えて、若年層を中心としたソーシャルメディア利用者にも情報発信していくことを目的に支部専用ソーシャルメディアアカウントから、積極的に情報を発信した。

[ソーシャルメディアアカウント]

区分	名前	ユーザーネーム	QRコード
X	日本赤十字社山形県支部	@nissekiyamagata	
Instagram		nisseki_yamagata	

### (4) メディアを活用した広報

赤十字事業の周知と普及を図るため、県内各報道機関より協力をいただき、広報活動を実施した。

#### ① テレビ、ラジオによる広報

5月の赤十字運動月間及び年間を通した赤十字活動広報用CM(2種)を作成し、報道機関4社(山形放送㈱、㈱山形テレビ、㈱テレビユー山形、㈱さくらんぼテレビジョン)から放映にご協力いただいた。

また、ラジオ用CMを放送機関2社(山形放送㈱、㈱エフエム山形)から放送にご協力いただき、県民への赤十字活動への周知を図った。

11月には報道機関2社(山形放送㈱、㈱山形テレビ)の情報番組にて、山形県支部の活動内容を紹介した。

#### ② 新聞広告による広報

広く赤十字事業にご理解をいただくため、5月の赤十字運動月間に合わせて、支部事業の紹介及び赤十字会員への加入促進に努めた。

また、9月1日の「防災の日」に向けて、8月30日に赤十字の防災・減災にかかる取り組みを紹介した。



運動月間用CMの放映(2種)



運動月間新聞広告の掲載

### (5) レッドライトアッププロジェクトの実施

5月の赤十字運動月間に、赤十字を広く国民に周知することを目的に全国各地の赤十字施設や歴史的建造物を赤十字のシンボルカラーである赤色に照らす「レッドライトアッププロジェクト」について、本県では日和山公園木造六角灯台(酒田市)、旧米沢高等工業学校本館(米沢市)を会場に実施した。

期 間	場 所
5月1日(木)～11日(日)	日和山公園木造六角灯台(酒田市)
5月1日(木)～29日(水)	旧米沢高等工業学校本館(米沢市)



日和山公園木造六角灯台



旧米沢高等工業学校本館

### (6) 赤十字フェスタ及び地域イベントの実施

県民から広く赤十字事業にご理解とご協力をいただくため、赤十字活動を実際に見て、触れて体験いただく赤十字フェスタを県内商業施設に協力いただき実施した他、他団体のイベントに赤十字ブースを出展した。

No	主催者・イベント名	期 日	場 所	参加者
1	鶴岡市子どもまつり 【新規】	5月18日(日)	つるしんアリーナ 小真木原 朝暁武道館 (鶴岡市)	来場者 509名 救急法等指導員 2名 鶴岡市職員 5名 支部職員 7名 合 計 523名
2	イオンモール三川 「はたらくクルマ展」	6月8日(日)	イオンモール三川 (三川町)	来場者 350名 三川町赤十字奉仕団員 10名 救急法等指導員 2名 支部・血液センター職員 8名 合 計 370名
3	東根市蟹沢赤十字奉仕団 「2025赤十字フェスタ inひがしね」【再掲】	10月13日(月)	ひがしね あそびあランド (東根市)	来場者 681名 東根市蟹沢赤十字奉仕団員 7名 救急法等指導員 2名 支部・血液センター職員 8名 合 計 698名
4	南陽社会福祉協議会 「社協福祉まつり」	10月25日(土)	南陽市 健康長寿センター (南陽市)	来場者 100名 支部職員 3名 合 計 103名
5	高島町赤十字奉仕団 「2025赤十字フェスタ inたかはた」【再掲】	11月3日(月)	町立図書館駐車場 (高島町)	来場者 200名 高島町赤十字奉仕団員 14名 救急法等指導員 2名 明治安田生命職員 5名 支部職員 4名 合 計 225名



非常炊き出しの方法を学ぶ来場者



自動ラップ式簡易トイレの紹介を受ける来場者

### (7) 山形花笠まつりパレードへの参加

県民に対する赤十字活動のPRを目的に救急法等指導員、赤十字奉仕団員、青少年赤十字メンバー、日赤職員が参加した。

主催者・イベント名	期 日	場 所	参加者	
山形花笠まつりパレード	8月6日(水)	七日町通り (山形市)	奉仕団員	19名
			青少年赤十字メンバー	11名
			救急法等指導員	3名
			血液センター職員	16名
			支部職員	10名
			合 計	59名



花笠パレード参加の様子

### (8) 赤十字広報資材(赤十字広報パック)貸出事業の実施

県民に広く赤十字事業へのご理解とご協力をいただくため、行事・イベント等で活用いただくための広報資材(赤十字事業紹介用パネル、救援物資サンプル等)を貸し出し、赤十字活動のPRに努めた。

No	活用行事名	期 間	貸出先
1	赤十字会員増強運動説明会	5月28日(水)～29日(木)	日赤山形市地区
2	防災×福祉×男女共同参画セミナー	6月1日(日)	日赤高島町分区
3	社会福祉協議会ボランティア連絡協議会 防災セミナー	7月30日(水)	米沢市赤十字奉仕団
4	高島町総合防災訓練	9月28日(日)	日赤高島町分区
5	朝日町防災・環境フェア	10月5日(日)	朝日町役場総務課
6	寒河江市福祉と健康フェア	10月17日(金)～18日(土)	日赤寒河江市地区
7	だがしや楽校	2月14日(土)	山形市第五地区赤十字奉仕団
8	東日本大震災復興記念	3月10日(水)～3月11日(木)	米沢市赤十字奉仕団
9	堀内町内会自主防災訓練	3月29日(日)	舟形町堀内地区赤十字奉仕団

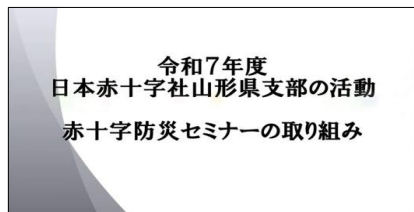
### (9) 支部活動紹介動画の作成と活用

県民に広く支部の活動について知っていただくため、令和6年7月25日からの大雨災害にかかる日本赤十字社山形県支部の対応についての動画を地区区分区担当者や奉仕団が集まる会議や研修会で放映した。

また、支部活動のPRに活用するため、赤十字防災セミナーの様子を紹介する動画を作成した。

形式 画像のスライドショー形式

時間 5分



### (10) 市町村主催イベントへの赤十字PRブースの出展

県民に広く赤十字事業へのご理解とご協力をいただくため、市町村主催のイベントに赤十字のPRブースを出展し、赤十字活動のPRに努めた。

No	活用行事名	期 間	貸出先
1	健康づくり強調月間	10月1日(水)～31日(金)	日赤鶴岡市地区

## 8 血液事業

県民の健康と生命を守るため、県、市町村及び関係団体と連携しながら、献血推進啓発活動を行う。

多くの県民の皆様に献血にご協力いただき、前年度と比較し96.9%の実績となり、需要に応じた献血血液の確保に努めた。

[献血実績]

(単位:人)

	令和7年度			令和6年度			対前年比
	献 血 者 数			献 血 者 数			
		移動採血車	献血ルーム		移動採血車	献血ルーム	
全血献血	27,471	21,583	5,888	28,688	23,055	5,633	95.8%
成分献血	12,392	-	12,392	12,469	-	12,469	99.4%
合 計	39,863	21,583	18,280	41,157	23,055	18,102	96.9%

※血液事業の詳しい状況については、別途「令和7年度血液センター事業実施概要」をご参照ください。

## 令和7年度 血液センター事業実施概要

### 1 血液製剤の供給実績

当センターでは、医療機関に安定的に血液製剤を供給するため、3日分の在庫を保有し、東北ブロック血液センターから1日に2回定時搬入をする体制をとっている。

血液内科及び心臓血管外科での手術等の増加により、赤血球製剤、血小板製剤の使用が増加し、前年度比99.6%となった。

区分	令和7年度実績 (単位)	令和6年度実績 (単位)	対令和6年度比
赤血球製剤	52,482	50,538	103.8%
血漿製剤	13,475	14,463	93.2%
血小板製剤	60,055	61,555	97.6%
合計	126,012	126,556	99.6%

※単位換算について

赤血球製剤：「200mL 献血由来」を1単位、「400mL 献血由来」を2単位として換算

血漿製剤：「200mL 献血由来」を1単位、「400mL 献血由来」を2単位、「成分献血由来」を4単位として換算

血小板製剤：1単位20mLで換算

### 2 献血実績

移動採血車では、県内各事業所や官公庁、学校、商業施設、各種イベント等において献血を呼びかけ、各地でご協力をいただいた。献血ルームでは、県内唯一の固定採血施設として県民の皆様を中心に広くご協力をいただいた。移動採血車と献血ルームの合計では前年度比96.9%の実績となった。

#### (1) 献血者数

(単位：人)

	令和7年度			令和6年度			対令和6年度比
	合計	移動採血車	献血ルーム	合計	移動採血車	献血ルーム	
全血献血	27,471	21,583	5,888	28,688	23,055	5,633	95.8%
200mL 献血	717	247	470	765	264	501	93.7%
400mL 献血	26,754	21,336	5,418	27,923	22,791	5,132	95.8%
成分献血	12,392	-	12,392	12,469	-	12,469	99.4%
血漿	7,103		7,103	7,161		7,161	99.2%
血小板	5,289		5,289	5,308		5,308	99.6%
合計	39,863	21,583	18,280	41,157	23,055	18,102	96.9%

## (2) 重点項目

医療機関からの需要及び輸血による安全性向上のため、400mL 献血の推進を図るとともに、輸血用血液を安定的に確保するため、移動採血の稼働効率化を図ることを重点項目としており、400mL 献血率は、目標値 97.9% に対し 97.4%、移動採血車 1 稼働あたりの献血者数は、目標値 45 人以上に対し 41.8 人となった。

### ア 400mL 献血率

目標値	全血献血者数	200mL 献血数	400mL 献血数	400mL 献血率
97.9%	27,471 人	717 人	26,754 人	97.4%

### イ 移動採血車 1 稼働あたりの献血者数

目標値	献血者数	稼働数	1 稼働あたりの献血者数
45 人	21,583 人	516 台	41.8 人

## (3) 定点献血等の実施状況

定点献血会場として、大型ショッピングセンター等で定期的な献血を実施し、前年度比 95.3% の献血実績となった。

(単位：人)

会 場	実 施 日	令和 7 年度			令和 6 年度			対令和 6 年度 比
		回 数	献血者 総数	1 稼働 あたり	回 数	献血者 総数	1 稼働 あたり	
イオン山形北店	年 4 回	4	133	33.3	4	154	38.5	86.4%
イオンモール山形南	年 4 回	4	133	33.3	4	172	43.0	77.3%
イオンモール天童	年 12 回	17	797	46.9	16	833	52.1	95.7%
イオン東根店	奇数月第 1 土曜日	10	421	42.1	9	467	51.9	90.1%
イオン米沢店	年 7 回	8	394	49.3	8	408	51.0	96.6%
鶴岡協同の家こびあ	毎月第 2 土曜日	12	684	57.0	12	715	59.6	95.7%
イオンモール三川	毎月第 4 土曜日	13	735	56.5	13	771	59.3	95.3%
計		68	3,297	48.5	66	3,520	53.3	93.7%
陸上自衛隊神町駐屯地		6	239	39.8	5	192	38.4	124.5%
合計		74	3,536	47.8	71	3,712	52.3	95.3%

※臨時実施含む

#### (4) 原料血漿の確保実績

血漿分画製剤の原料となる血漿は、安全性の確保並びに倫理的な見地から、その全てを国内の献血でまかなう方針が国から示されており、国内自給率 100%達成に向けて割り当てられた目標量を確保した。

令和 8 年 3 月末時点（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月累計）

原料血漿確保目標	確保実績	実績／目標量
77,817 L	78,321 L	100.6%

※広域事業運営体制のため、青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島 6 県分の合算の数値

### 3 献血の普及啓発

#### (1) 各種団体等との連携

##### ア ライオンズクラブ国際協会 332-E 地区献血推進研究会

実施日	実施会場	内 容
11 月 21 日 (金)	パレスグランデール (山形市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動優秀クラブ表彰及び活動事例報告</li> <li>・各クラブ年間活動実施計画及び報告</li> <li>・「献血 1 万人運動」の更なる推進に関する協議</li> <li>・若年層献血者の増加に向けての協議</li> <li>・新入社員を対象とした献血協力に関する協議</li> </ul>

県内各ライオンズクラブでは「献血 1 万人運動」を目標の 1 つに掲げ、次の通り献血推進活動に積極的に協力いただいている。

- (ア) 県内商業施設における定点献血及び街頭献血での勧誘、記念品進呈
- (イ) 高等学校及び大学等、若年層献血者に対する記念品進呈
- (ウ) クラブ会員所属企業における献血及び記念品進呈
- (エ) 各ライオンズクラブ主催での献血実施
- (オ) 献血ルームでの献血協力

##### イ 献血セミナーの開催

若年層の献血者確保を図るべく、将来の献血を担う高校生等や子育て世代の親子を対象に、血液や献血に対する正しい知識を学んでもらうことを目的に、献血セミナーを実施した。

	小学校	高等学校	大学 専門学校	その他	計	令和 6 年度
実施回数	7 回	47 回	19 回	12 回	85 回	111 回
参加人数	108 人	8,748 人	1,364 人	258 人	10,478 人	12,813 人

## ウ 学生ボランティアの育成

若年層の献血者確保を目的に、県内の大学生を中心としたボランティアが活動を展開している。主に各学校での献血や街頭キャンペーン等において、同年代に対して献血の必要性を呼び掛けた。

### 【学生献血推進ボランティア】

山形大学、山形県立保健医療大学、山形県立米沢女子短期大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学

## (2) 広報及びキャンペーン等活動

### ア 広報活動

献血者確保のため、広く県民に献血の普及啓発を図るべく、ホームページを通じ積極的に情報発信するとともに、県内報道機関への情報提供及び取材要請を実施した。

- ・ ホームページによる情報発信（通年）
- ・ SNS（X）による情報発信（通年）
- ・ THINK！献血（令和6年度より継続の献血推進方策）  
テレビ、ラジオ、WebCMの放送、交通広告での広報  
(令和7年6月9日～令和8年4月30日)
- ・ 「はたちの献血」キャンペーン  
テレビ、ラジオ、WebCMの放送（令和8年1月1日～令和8年2月28日）
- ・ 献血普及啓発テレビCM「折り紙タッチ」篇の制作・放送（令和2年3月から継続）
- ・ 県内各報道機関への献血予定情報の提供（通年）
- ・ 県内各報道機関へのプレスリリースの発信（通年）
- ・ モンテディオ山形と連携した広報活動の展開（通年）
- ・ 県内市町村主催二十歳の祝賀式における広報資材の配付（随時）

### イ 各種キャンペーン等の展開

各種キャンペーン及びイベントを実施し、献血協力を呼びかけた。



イオンモール「まちのおしごと体験」での  
模擬採血体験の様子  
(イオンモール山形南)



山形県赤十字血液センター施設見学の様子  
(山形市立千歳小学校)

・全国キャンペーン

実施月	名 称
4 月	『THINK！献血』（令和6年度より継続の献血推進方策）
	シャレン！で献血（4月～12月）
	※明治安田生命保険相互会社、公益社団法人日本プロサッカーリーグ及び日本赤十字社の3者連携による実施。 全国各地のJリーグホームゲーム及び献血ルームにおいて献血を展開。 ＜県内の実施＞ 5月3日：ホームゲーム献血（モンテディオ山形×北海道コンサドーレ札幌戦） 10月26日：ホームゲーム献血（モンテディオ山形×RB大宮アルディージャ戦） 4月1日～12月30日：献血ルームSAKURAMBOにてキャンペーン開催
6 月	世界献血者デー（6月14日） ※ ABO式血液型を発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞したカール・ラントシュタイナー氏の誕生日
7 月	愛の血液助け合い運動
8 月	コミックマーケット106 献血応援イベント（8月～9月）
12 月	全国学生クリスマス献血キャンペーン2025
	コミックマーケット107 献血応援イベント（12月～1月）
1 月	はたちの献血キャンペーン（1月～2月）

・血液センター主催

① やまがた春の献血キャンペーン2025	令和7年4月1日(火)～4月30日(水)
春期の献血血液確保の強化、及び10代～30代の若年層献血者に対する推進を図るため、10代～30代の献血者に対し、オリジナル記念品を進呈した。	
② 山形県学生献血サマーキャンペーン2025	令和7年8月3日(日)～17日(日)内の一部街頭献血会場にて開催
夏場の献血者確保を目的に、県内の一部街頭献血会場にて献血にご協力いただいた方に、学生ボランティアが企画したオリジナル記念品を進呈した。	
③ やまがた春の献血キャンペーン2026	令和8年3月15日(日)～4月15日(水)
春期の献血血液確保の強化、及び10代～20代の若年層献血者に対する推進を図るため、10代～20代の献血者に対し、オリジナル記念品を進呈した。	

・ 献血ルーム SAKURAMBO 主催

①モンテディオ山形応援キャンペーン 「モンテ応援デー」	令和7年2月20日(木)～11月28日 (金)
毎週木曜日と金曜日を「モンテディオ山形応援デー」とし、特に使用期限の短い血小板製剤を安定的に医療機関に届けられるよう平日の成分献血の協力を求め、期間中毎週木曜・金曜の成分献血者へお菓子を進呈した。	
②成分献血次回予約キャンペーン(通年)	令和7年4月1日(火) ～令和8年3月31日(火)
平日の成分献血者確保及び献血事前予約率の向上を目的に、献血終了後、次回の献血予約(平日の成分献血)をいただいた方へ記念品を進呈した。	
③「献血ルーム SAKURAMBO イメージソング 書道作品完成記念ポストカード」配布	令和7年5月1日(木) ～5月31日(土)
献血ルーム SAKURAMBO イメージソングをもとにした書道作品を惺山高等学校書道部が制作、書道作品完成を記念したポストカードをご来場いただいた方へ進呈した。	
④プラス1!全血献血キャンペーン ～1年以内に全血献血をもう1回!～	令和7年6月1日(日) ～令和8年3月31日(火)
全血献血にご協力いただいた方へメッセージカードを手交し、次回このカードを持参し献血協力いただいた方に記念品を進呈した。	
⑤公式X(旧ツイッター)フォローアップ キャンペーン	令和7年7月1日(火) ～令和8年3月31日(火)
献血にご協力いただいた方で、山形県赤十字血液センター公式X(旧ツイッター)のアカウントをフォローし、「#献血ルーム SAKURAMBO」をつけて、当日の感想などを投稿していただいた方に記念品を進呈した。	
⑥献血ルームでクールシェア!! Summer 献血キャンペーン	令和7年7月1日(火) ～9月30日(火)
夏の暑い時期に、献血ルームを涼める場所としてPRし、献血者に快適な場所を提供する「クールシェア」を展開。また、期間中の平日にご予約で献血に協力いただいた方へ、記念品として「冷やしシャンプー」「そうめん」等を進呈した。	
⑦夏休みの自由研究に!! けんけつルーム親子で見学ツアー	令和7年8月5日(火)・6日(水)
小学生向け夏休みの自由研究に活用できるよう、親子で献血ルームの見学とけんけつセミナーを実施した。当日は、献血ルームのほか血液センター供給部門ともオンラインで結び、医療機関へ血液を届ける役割部門の理解を深めた。親子12組が参加した。	
⑧献血ルーム SAKURAMBO 13周年ありがとうキャンペーン	令和7年10月1日(水) ～11月28日(金)

<p>実施期間中、事前予約及び事前問診回答のうえ平日の成分献血及び全血献血へご協力いただいた方へ記念品として、「おうちスープ」を進呈した。</p>	
<p>⑨けんけつちゃん いろとりどりアート展</p>	<p>令和7年10月9日(木) ～11月30日(日)</p>
<p>近隣の児童施設からご応募いただいた「けんけつちゃん」の塗り絵作品を、エントランスに展示した。作品を見に来てくれたお子様に、感謝の気持ちを込めて「お菓子の詰め合わせ」を進呈した。</p>	
<p>⑩2025 山形 Make Lemonade プロジェクト</p>	<p>令和7年12月15日(月) ～12月28日(日)</p>
<p>レモネード1本につき71円が小児がん支援金として山形大学医学部小児科に寄付される「レモネードスタンド」活動を献血ルームを会場として実施した。</p>	
<p>⑪ 県立図書館×献血ルーム SAKURAMBO 連携イベント 本の森講座 図書館で学ぼう！いのちを救う「けんけつ」</p>	<p>令和8年1月4日(月) ～2月28日(土)</p>
<p>冬季期間における献血者の確保と、県民の皆さまに献血普及啓発を目的としており、特に子育て世代の方々に向けて、家族で献血の重要性について学べる機会を提供し、献血ルームの存在を広く周知することで新たな献血者確保を目指した。期間中、献血の関連図書や掲示物の展示。また、1月10日(土)はぬり絵やシール、献血チラシを作成するワークショップや血液センターと会場をつなぐ「オンライン見学ツアー」を実施。6家族14名が参加。</p>	
<p>⑫献血で愛をとどけよう！バレンタインキャンペーン</p>	<p>令和8年2月11日(水) ～2月28日(土)</p>
<p>寒さが厳しくなる冬季は、体調不良や感染症の流行などにより、献血のご協力が減少しやすい時期。本イベントは、冬季の安定的な献血血液の確保を図るとともに、若い世代である専門学校生と協力して実施することで、特に同世代の方々に献血への関心を持っていただくことを目的とし、期間中、献血ルームにて献血協力いただいた方へ、山形調理師専門学校の生徒が手作りした「けんけつ応援クッキー」をプレゼント。「けんけつ応援クッキー」は、同校の管理栄養士が栄養面に配慮し、鉄分を多く含むナッツやドライフルーツなどを使用したオリジナルレシピのクッキー。</p>	



けんけつルーム親子で見学ツアーの様子



献血ルーム SAKURAMBO イメージソングをもとにした書道作品



2025 山形 Make Lemonade プロジェクトの様子



本の森講座 図書館で学ぼう！いのちを救う「けんけつ」のオンライン見学ツアーの様子

### (3) 複数回献血協力及び献血予約の推進

複数回献血協力の推進を図るため、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」の登録を奨励し、新規登録者数は前年度比 96.3%である。

また、医療機関からの需要に応じた輸血用原料血液の安定確保や、献血される方の密集・密接回避等を目的に、「ラブラッド」の機能である「献血予約」、「事前 Web 問診回答機能」の活用を推進した。

令和 7 年度 新規登録者数	令和 6 年度 新規登録者数	対令和 6 年度比	県内 登録者総数
6,466 人	6,716 人	96.3%	39,059 人

## 4 調査、研究事業の推進

輸血医療の質的向上を目的とした調査研究事業を推進し、適正かつ安全な輸血療法の向上をめざし、県と合同で山形県の血液使用量の95.6%以上を占める24医療機関及び関連団体とともに県合同輸血療法委員会を開催した。

### (1) 山形県合同輸血療法委員会での取り組み

- ア 廃棄血削減に関する取り組み
- イ 適正な輸血の実施に向けた取り組み
- ウ 地域連携を基盤とした取り組み

### (2) 山形県合同輸血療法委員会関連委員会研修会等の開催

実施日	名 称	場 所	摘 要
6月20日(金)	第6回山形県合同輸血療法委員会 看護師部会	山形県赤十字 血液センター	部会員13名、 事務局2名参加
6月30日(月)	令和7年度山形県合同輸血療法委員会 臨床検査技師部会	Web開催	部会員15名、 事務局2名参加
7月28日(月)	第29回山形県合同輸血療法委員会	山形県赤十字 血液センター 及びWeb開催	委員41名 (現地5名・Web36名) 事務局3名参加
8月29日(金)	山形県合同輸血療法委員会看護師部会 輸血業務に関する情報交換会	山形県赤十字 血液センター	部会員11名、 事務局2名参加
10月15日(水)	輸血療法に関する看護師研修会	Web開催	看護師等171名、 事務局2名参加
11月29日(土)	第30回合同輸血療法委員会 及び 第12回山形輸血療法セミナー	山形県赤十字 血液センター 及びWeb開催	現地13名、 Web42名、 事務局5名参加
令和8年 2月4日(水)	看護師と臨床検査技師の合同学習会	Web開催	38医療機関 看護師128人 臨床検査技師67人 合計195人 事務局3名参加

### (3) 学会等への参加

実施日	名 称	場 所	摘 要
9月13日(土)	2025年度山臨技輸血細胞治療部門研修会	山形県赤十字 血液センター	技師会員39名、 血液センター職員 講師として3名参加

9月27日(土)	第127回日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会	アップル パレス青森	血液センター職員 3名参加
10月28日(火) ～30日(木)	第49回日本血液事業学会総会	大宮ソニック シティ及び Web開催	血液センター職員 現地9名、 Web 1名参加
令和8年 3月7日(土)	第128回日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会 及び 令和7年度赤十字血液シンポジウム東北	TKP ガーデンシ ティ仙台	血液センター職員 スタッフ参加5名、 通常参加8名

## 5 研修の受入

輸血医学事業の一環として、山形大学医学部生等を対象に、血液事業及び輸血医療に関する研修を実施した。

実施月	名 称	医療機関等	人数
通年※	学外臨床研修	山形大学医学部	46名

※大学の研修カリキュラム変更により、2025年10月～2026年9月は実施せず

## 6 造血幹細胞提供支援の実施

造血幹細胞提供支援機関として、骨髄ドナー登録希望者に対し、事前説明及び登録受付を献血会場にて実施した。

令和7年度新規登録者数	県内登録実総数
448人	8,586人

## 7 血液センターの移転

血液センターの移転については、令和4年度から令和6年度で計画し、山形県農業共済組合（NOSAI 山形）の土地・建物及び隣接する農地を購入し、「血液センター施設ガイドライン」に基づき改修し、令和7年3月に竣工、6月に開設した。

